令和7年9月16日

取手市議会議長

山野井 隆 殿

議 会 運 営 委 員 会

委員長 赤 羽 直 一

委員会中間報告書

本委員会の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和7年度第1回市民との意見交換会における意見・要望
- 2 調査の経過 令和7年6月18日、8月27日
- 3 意 見 別紙のとおり

【議会運営委員会】 令和7年5月10日 市民との意見交換会（意見・要望）

項目	意見・要望	議会からの回答
1	<p>市民との意見交換会の参加者数について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加市民が少ない。市民の意識、議員の意識が低いと思う。 ・近年は、市民に限らず県政、国政ばかり政治に興味がない人が多すぎる。 <p>意見交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望への回答を拝見すると注視、検討という言葉が多すぎる。この回答を見ていると意見を出した甲斐がないと思ってしまう。 ・もう少し、意見要望の解決に尽力してほしい。 	<p>市民との意見交換会は、従来は議会棟のみでの開催でしたが、令和2年度からはzoomを使ったオンラインによる意見交換会の併用、さらに令和5年度からは公民館を利用した複数の会場での開催など、利便性を向上することにより参加者の増加に努めてまいりました。また、ご指摘いただいた政治に興味のない人が多すぎるという点についても、中学校への出前授業や中学生議会といった中学生と議員との協働事業等を継続的に実施することにより、若い世代を中心に市政や市議会に興味を持っていただけるような取り組みを実施しております。今後はそれらの取組をより強化し、意見交換会の参加者を増やせるよう努めてまいります。</p> <p>意見交換会で皆様から頂いたご意見・ご要望への回答については、各委員会を開催し、市の担当部署へのヒアリングなどの調査を行ったうえでの回答となります。議会としては、皆様から頂いたご意見・ご要望をしっかりと市の担当部署へ伝えることにより解決につながるよう努めておりますので、今後ともご参加お願いいたします。</p>
2	<p>議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会に傍聴に行くが市長が答弁しないのが腑に落ちない。 	<p>今後は議員からも、市長に対し答弁を求めるなど取り組んでまいります。</p>
3	<p>今回、一般会計予算・決算審査特別委員会を見たが、事業内容を聞いて、即わかりましたで終わっていた。事前に調べて会議に臨んでいない議員が多すぎるように感じた。調査不足では的確な質疑が出来ないのではないかと。これらをどう考えているか？</p>	<p>一般会計予算・決算審査特別委員会では、3月定例会での予算審査の委員会後委員会を開催し、質疑も含め3日間の委員会の取組について、振り返りと反省を行い、委員からは様々な反省点や改善点が挙げられました。その結果、9月に行われる決算審査の委員会においては、質疑項目の事前調査の徹底と、質疑理由を明確にしたうえで質疑に臨むことが委員間であらためて確認され、それに併せて質疑通告書の様式変更も行いました。これらの取組により、より良い質疑、委員会運営ができるよう努めてまいります。</p>

4	<p>政治について</p> <ul style="list-style-type: none">・若者が政治に興味を持っていない。・若者が政治に興味を持ちたくなる工夫をしてほしい。	<p>市議会では、中学生との協働事業を毎年実施するなど若い世代に対して、市議会や市政に興味を持ってもらえるような取組を行っています。さらに今年度は小学校に議員が訪問し、市の将来について一緒に考える授業を行っています。今後もこのような活動を通して、若い世代に政治に興味を持ってもらえるような取組を継続してまいります。</p>
---	---	---